

出版情報

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 書名・件名 | 厚生白書(平成8年版) |
| 副書名 | 家族と社会保障—家族の社会的支援のために— |
| 編集者・監修者 | 厚生省 |
| 所在地 | 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 |
| 国名 | 日本 |
| 郵便番号 | 100-45 |
| 電話番号等 | 03(3503)1711 |
| 発行日 | 平成8年5月27日 |
| 発行日 | 平成8年5月27日 |
| ISBN | ISBN4-324-04879-7(5105028-00-000) |
| 価格 | 2400円 |

平成8年版厚生白書の刊行に当たって

平成8年版厚生白書をここに公表いたします。

厚生行政は、今、大きな転機に立っております。21世紀を目前に控え、急速な少子・高齢化が進行する中で、新たな高齢者介護制度の創設や少子化に対応した育児支援策のあり方など厚生行政をめぐる課題は山積しております。他方、我が国の経済は安定成長へと移行しており、かつてのような経済成長は望めず、社会保障負担をいかにして適正なものとするかが大きな課題となっております。

このような状況にあって、今年の厚生白書では、「家族と社会保障―家族の社会的支援のために―」をテーマに取り上げました。

戦後50年が経過し、我が国の社会・経済のみならず、家族の姿も大きく変容する中で、家族を社会的に支援し、個々人が自由にかつ尊厳をもって生活できるようにするためには、高齢者介護を始めとする新たなニーズに対応した社会保障制度の確立が求められております。経済環境の変化を踏まえ、このようなニーズに対応するためには、これまでの社会保障制度の枠組みを大胆に見直し、効率性と公平性に基づく社会保障制度を確立することが必要となります。このため、負担の問題も含め、少子・高齢社会に対応した社会保障制度を確立するための課題を提示し、国民の皆様方の幅広い議論に供することとしております。

エイズ問題につきましては、大きな被害が国民の間に拡大し、多くの方々が苦しむ事態が生じたことは痛恨の極みであります。また、厚生行政のあり方につきましても、大きな反省と課題を残しております。この問題につきましては、第2部第3章第5節において述べておりますが、被害者救済に全力を尽くすとともに、今回の経験を重い教訓とし、再発防止に万全を期し、厚生行政に対する国民の皆様方の信頼を取り戻すよう努力してまいりたいと考えております。

このほか、今回の白書においては、障害者プランの策定を始めとする障害者施策の新たな展開、社会・経済の変化に対応した年金制度の確立など厚生行政の各分野にわたり、主な動きおよび今後の課題をお示ししております。

また、世界の社会保障制度として、欧米諸国のみならず、アジア諸国の社会保障制度についても初めて取り上げ、世界の社会保障制度の状況について紹介しております。

この白書が、国民の皆様幅広く活用され、厚生行政についての一層の御理解と御協力をいただくための一助となれば幸いです。

平成8年5月 管 直人 厚生大臣

－平成8年版厚生白書の構成について－

本白書は、第1編と第2編からなっている。

第1編は記述を中心としており、第2編は「制度の概要および基礎統計」として厚生行政全般に係る基礎的な資料を掲載している。

第1編はさらに3部構成となっており、第1部では「家族と社会保障－家族の社会的支援のために－」をテーマに取り上げた。その構成やねらいについては第1部の序章で述べるとおりであり、第1章から第3章までの3章構成となっている。

第2部は「主な厚生行政の動き」と題し、昨年と同様、1995（平成7）年度における主な厚生行政の動きを中心に記述をしている。第1章「障害者施策の新たな展開－地域におけるノーマライゼーションの実現を確かなものとするために－」から、第7章「災害対策の再編成」までの7章によって構成されている。

さらに、第3部では「世界の社会保障制度」を取り上げた。いずれの欧米諸国においても、効率的で安定的な社会保障制度を確立するため多くの努力が払われており、我が国の社会保障制度のあり方を考える上で参考となるものも少なくない。また、第1部のテーマである家族と社会保障制度との関わりを考える観点からは、欧米諸国のみならずアジア諸国の状況を理解することが重要であるため、アジア諸国の社会保障制度についても記述することとした。
